

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2016.10) 平成27年度:77.

自殺企図で救命救急センターに入院した患者の家族のニーズ

高橋 正樹

自殺企図で救命救急センターに入院した患者の家族のニーズ

旭川医科大学病院救命救急センター

○高橋 正樹

【はじめに】

救急患者の家族に共通する体験やニーズについては徐々に明らかになっている。一方、自殺企図で入院となった患者の家族が、現状をどのように捉え、入院に際し何に不安を感じ、医療者に何を求めているかは明らかにされていない。そこで、本研究では自殺企図で入院となった患者の家族のニーズを明らかにすることを目的とした。

【研究方法】

2014年7月～10月、A病院救命救急センターに自殺企図で入院し自宅退院となった患者の家族2名に対し、面接を実施した。逐語録を元に抽出された内容を質的帰納的に分析した。

【倫理的配慮】

対象者には研究の目的、方法等を説明し、同意を得た。面接はプライバシーが確保できるよう配慮した。本研究は研究者の所属する施設の倫理委員会の承認を得て行った。

【結果】

1. 対象者の背景

A氏：患者の夫。B氏：患者の父親。なお、患者はいずれも大量の服薬により救急搬送となっている。

2. 患者の家族の思いやニーズ

面接の結果、表1、表2のとおり両氏のサブカテゴリーから3つのカテゴリーをニーズとして抽出した。

表1 A氏のニーズ

退院後の安全のニーズ	再企図がないよう気を使う 再企図予防のために内服薬管理をする
情報のニーズ	薬剤の情報 患者の情報 救急システムの情報
保証のニーズ	自殺企図患者受け入れの希望 再企図時の受け入れの希望 緊急時の受け入れの希望 再企図時の精神科への受け入れの希望 患者の体の心配 搬送先決定までの時間が長いことへの心配と腹立たしさ 他院への受診手段の不安と定期受診の希望 緊急時の受け入れの不安

表2 B氏のニーズ

退院後の安全のニーズ	再企図に対する本人の安全 ストレスの原因である家族の安全
情報のニーズ	自殺企図患者への対応方法
保証のニーズ	退院後の精神科での治療の希望 入院中の心のケアへの希望 退院後の精神科での治療と薬の処方の希望 退院後の専門的な治療の希望

【考察】

本研究では、両家族から本人の【退院後の安全】のニーズが共通してみられていた。家族は患者の自殺企図に強い衝撃を受けている可能性があり、そのことが再企図への心配として現れ患者の安全に対するニーズとして現れたと考えられる。また、B氏からは家族の安全のニーズが抽出された。これは自殺企図の理由が子育てのストレスによるものであったため、そのストレスが次は患者本人ではなく子どもに向かった場合を危惧する家族の思いからニーズとして現れたと考えられる。このように患者以外の安全がニーズとして現れたことは、他の救急患者の家族にはなく特徴的であると考えられる。本人や家族で対処できない場合はソーシャルワーカー等に依頼し、自殺企図の要因となっている事象に介入し、本人と家族の安全を確保する必要がある。

次に【保証】と【情報】のニーズが両家族から抽出された。【保証】のニーズとして迅速な受け入れや再企図時の受け入れの希望、精神科の専門的な治療の希望のニーズが強く表れることは、再企図の不安を持つ自殺企図患者の家族のニーズの特徴と考えられる。【情報】のニーズでは、患者への対応方法に関するニーズがあった。家族は再企図がないようどのように患者と接するべきか気かけ情報を求めていると考えられ、適切な対応方法を患者の家族に伝えていくことは再企図の予防につながり重要であると考えられる。